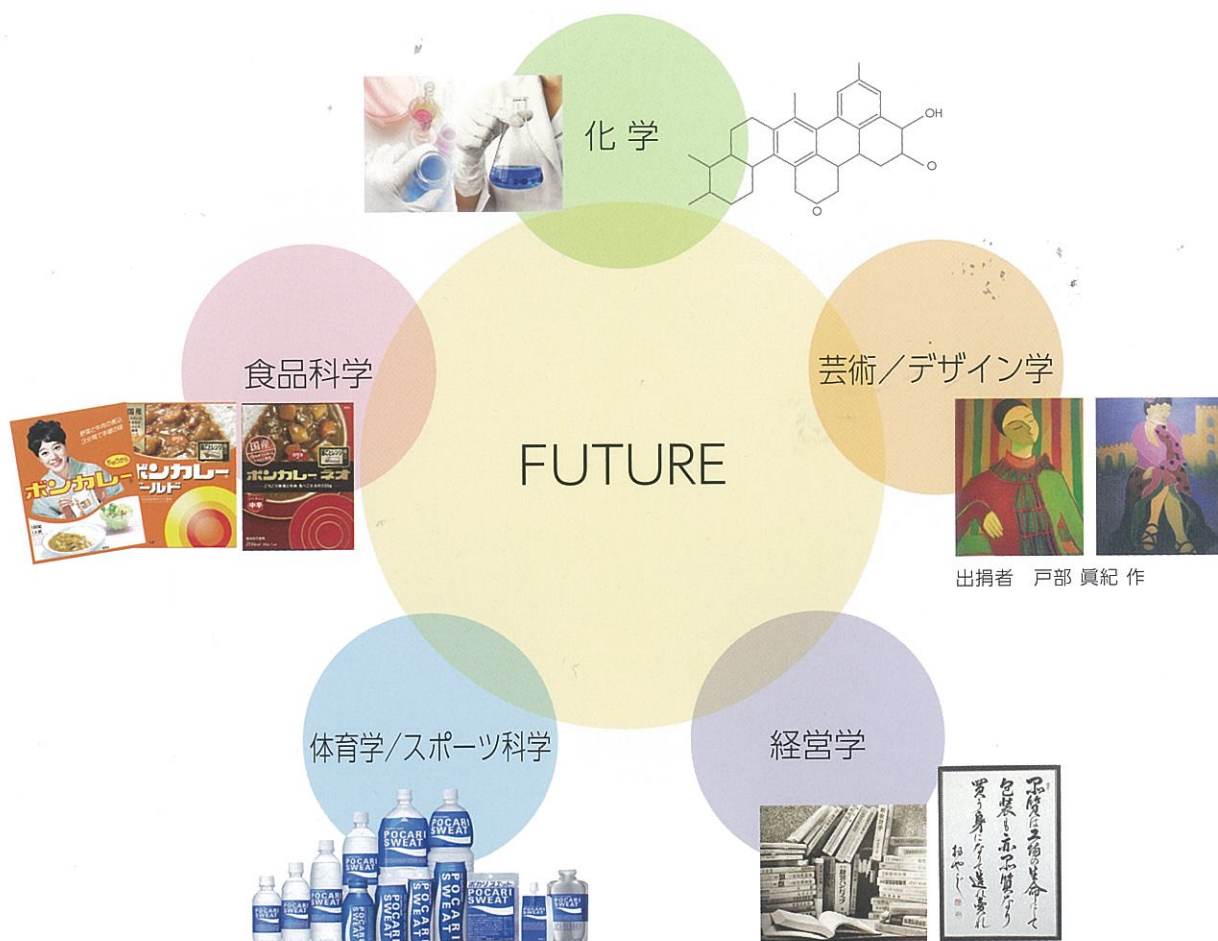


# 対象分野



## 過去の採用者の専攻一覧(参考)

### 《化学》《食品科学》

化学/応用化学/応用生物化学/応用物質化学/応用科学/応用理工学/生命科学/生命工学/応用生命科学/応用生命化学/応用生命工学/先端学際工学/先進理化学/生命機能・ファイバー工学/繊維学/有機材料システム/化学工学/理工学/基礎理工学/物質工学/物質創造工学/物質理学/数理物質科学/分子生命機能科学/高分子化学/化学システム工学/電気・電子情報工学/物性・分子工学/有機・高分子化学/高分子機能工学/薬科学/分子薬科学/総合薬品科学/創薬科学/創薬生命学/生命医薬化学/生物資源環境学/生物機能化学/資源生物科学/応用生物化学/生物産業創成科学/生態発生適応科学/海洋環境学/森林科学/循環物質化学/環境物質科学/環境科学/環境人間学/環境都市/開放環境科学/環境情報学/人間情報科学/地域食物科学/農学/農芸化学/人間栄養科学/共生基盤学/医科栄養学/共同獣医学/保健福祉科学/食物栄養科学/食品生物科学/食マネジメント学/物質生命システム工学/ライフサイエンス/ナノサイエンス・ナノテクノロジー/バイオサイエンス/バイオ工学/技術科学イノベーション等

### 《芸術学/デザイン学》

芸術文化学/美学・美術史学/文化歴史学/思想文化学/総合人文学/人文社会学/国際文化/学際情報学/情報連携学/共生人間学/共生文明学/比較文学/地域文化創造/地域創造学/文化表現論/美術学/建築学/考古学/都市工学/環境設計学/画像設計学/美術工芸/絵画/油絵/彫刻/アニメーション/マンガ学/デザイン学/環境デザイン学/デザイン経営工学/ファッションデザイン学/アートプロデュース/グローバルアートプラクティス/音楽学/作曲/指揮/器楽/鍵盤/管打学/弦楽/声楽/オペラ/映画/映像/メディア映像/メディアデザイン/メディア表現/舞台表現学/舞台芸術/言語社会/独文学/文化財保存学/超域文化科学/社会動態/都市政策学/都市環境学等

### 《体育学/スポーツ科学》

体育学/スポーツ科学/スポーツ総合/スポーツ健康学/スポーツ科学健康/健康福祉学/障害科学/広域科学/臨床教育学/保健学/人間総合科学/システム制御/リハビリテーション療法学/スポーツ高度化共同/スポーツ国際開発学/教育システム/学校教育/こどもの健康福祉学/スポーツビジネス/コーチング/スポーツ医学等

### 《経営学》

経営学/商学/経済経営学/国際経営学/国際政策学/公共経営学/総合政策学/地域・地球環境科学/資源開発環境学/農業・資源経済学/生物資源経済学/食料資源経済学/経営システム工学/ビジネスエコノミクス学/ファイナンス学/社会科学/法律経済学/学校教育高度化/データ社会学/組織とマネジメント/経営管理/会計情報等

# 2023年度(令和5年度) 奨学生募集要項 (公募)

## 1. 趣旨

公益財団法人 戸部眞紀財団(以下、本財団)は、向学心に富み、学業優秀であり、且つ、品行方正である日本国内の学部学生及び大学院学生に対して、奨学金を給付することにより、将来有為なる人材を育成することを目的とします。

## 2. 対象分野

- 化学
- 食品科学
- 芸術学/デザイン学
- 体育学/スポーツ科学
- 経営学(ビジネス・公共経営、マーケティング等)

## 3. 応募資格

- (1) 日本国内の大学及び大学院で修学している者  
※給付対象期間(2023年4月1日~2025年3月31日)を通して日本国内の大学及び大学院に在籍していること
- (2) 学部学生(3年生以上)、大学院学生(修士課程、博士課程) ※専門職学位課程は対象外とします
- (3) 年齢が2023年4月1日現在で30才以下の者
- (4) 上記2の対象分野で修学している者
- (5) 向学心に富み、学業優秀であり、且つ、品行方正である者
- (6) 学資の支弁が困難と認められる者
- (7) 奨学金を得ることで、学業や研究により一層の深化、発展が期待される者

- 学部3年生以上であれば、学年に関わらず応募できます。(例:公益大学を卒業→財団大学大学院へ進学)
- 最終年度等で1年間だけの給付を希望する方も応募できます。
- 秋入学、留学等により給付対象期間が2年間に満たない方は、1年以上2年未満の期間で可とします。  
(判断に迷う場合はお問合せください)
- 休学期間中は奨学金の給付を休止します。
- 分野は在籍する学部・学科、研究科の名称に関わらず、対象分野のいずれかに関連する研究をしている方であれば、どなたでも応募できます。
- 家計の収入による応募制限はしていませんが、選考過程で審査の対象になります。
- 海外からの外国人留学生は私費留学の方に限ります。

## 4. 採用人員

45名 日本人及び同等の権利を有する者 …… 40名程度  
外国人留学生 …………… 5名程度

- 同等の権利を有する者とは、永住者・日本人の配偶者・永住者の配偶者・定住者等を指します。

## 5. 奨学金の額と給付の方法

### (1) 給付金額

月額5万円(年額60万円)

但し、他の高額の給付型奨学金(民間の団体、地方自治体等)との併給の場合は半額となる場合があります。

- 他機関の奨学金受給中、または受給予定でも応募できますが、併給不可の機関に申請中、または受給中の方はご応募をご遠慮ください。
- 返済義務なしの場合でも、大学独自の奨学金、日本学生支援機構が行う給付型奨学金、及び学費の免除等は、併給の場合でも半額とはなりません。
- 博士課程を対象とした公的な支援制度(JSPS 特別研究員、JST 次世代研究者挑戦的プログラム)に採用された方につきましては、給付金額を半額(年額30万円)とさせていただきます。

## (2) 給付の条件

本財団の奨学金は返済の義務はありません。奨学生の卒業後の就職、その他一切については、本人の自由とします。

## (3) 給付の期間

2023年4月1日より2025年3月31日までの2年間(進級・進学の如何を問いません)

給付期間終了後は2年間の実績等を審査し、1年間で限度に継続を認める場合があります。(給付期間は最長3年間)

- 給付2年目については、進級・進学等の進路状況を確認の上、審議を実施いたします。
- 最終年度で1年間のみ給付を希望する方も応募できます。
- 給付期間は2年間としますが、1年目における義務の履行状況、成績、研究の推進状況等によっては2年目の給付を停止または廃止する場合があります。

## (4) 給付の方法

奨学金は原則として、2023年4月からの4ヶ月分を7月に、以降は2025年2月まで、偶数月の一定日に2ヶ月分を直接本人に給付します。(本人名義の預貯金口座に入金します)

## 6. 奨学金の休止、停止、または廃止

本財団が適当でないと判断した場合は、給付の休止、停止、または廃止を行います。

## 7. 応募方法と手続き

## (1) 提出書類

- ① 奨学生願書：本財団指定用紙
- ② 推薦状：本財団指定用紙。学長、部局長(学部長、研究科長、センター長等)の推薦
  - ・ 右上欄に学長または部局長等の記名及び職印押印のこと(個人印は不可、他の役職者の場合は問合せのこと)
  - ・ 下欄に指導教員が署名捺印(または記名押印)のこと ※必ず右上欄(学長等の職印)と下欄(指導教員の印)の両方に押印のこと
- ③ 在学証明書：原本
- ④ 成績証明書：原本。累積GPAの記載があるもの。大学院生は学部時代を含め前年度までの全成績証明書
  - ・ 成績証明書にGPAの記載がない場合はGPA証明書等(大学で発行が可能なもの)を併せて提出のこと(成績証明書に加えて、GPAの記載された成績通知書等による代用も可)
  - 大学でGPA証明書等が発行できない場合は本財団フォーマットで算出した数値をGPA欄に記載し、財団フォーマットも併せて提出のこと ※GPAフォーマットは願書と併せてダウンロードし、記入方法は記載例を参照のこと
- ⑤ 住民票：原本。マイナンバーが記載されていないもの
- ⑥ 写真1枚：横3.5cm×縦4.5cm、上半身正面脱帽、提出日より3ヶ月以内に撮影したもの。裏面に氏名を書き、願書に貼付のこと。写真データの印刷でも可

## 注意事項

## 【申請方法について】

・申請者は、本財団ホームページで「奨学金申請」ボタンより、氏名、所属、メールアドレス、住所、電話番号等を登録してください。

(登録先アドレス) <http://www.tobe-maki.or.jp/scholarship/>

・登録後、本財団より申請者のメールアドレス宛に、願書及び推薦状のダウンロード先アドレスを連絡しますので、当該ページよりダウンロードしてください。その際に登録するアドレスは、願書に記載いただくとともに採否連絡にも利用します。

## 【願書について】

・願書及び推薦状は、必ず記載例を確認し、誤りのないように記入してください。

・願書には2023年度の学年を記入してください。

・ワードファイルに直接入力したもの(フォントを11ポイントとする)を印刷しても、願書を印刷したものに手書きしても、どちらでも可とします。ページ数の増減や様式の変更は認めません。1～2ページ目については小さいフォントの使用、及びページ数が増えない範囲で行の追加も可とします。

・図表の挿入は自由です。

・願書は日本語で記入してください。採用後の連絡もすべて日本語で行います。

・作成書類はA4用紙を使用し、添付書類を含め、全て片面印刷としてください。(ホッチキス禁止)

## 【添付書類について】

・在学証明書は2023年4月1日以降に取得した新学年の証明書を提出してください。願書には2023年度の学年を記入してください。

・成績証明書は、学部学生は入学からの累計のもの、大学院生は学部時代を含め前年度までの全成績証明書を提出してください。尚、編入者は編入前(高等専門学校や短期大学も含みます)の成績証明書も併せて提出してください。留学生で原本の提出が困難な場合はコピーでも可とします。

- ・住民票は、本人のみの記載で、本籍を省略したもので結構です。外国籍の方(永住者・留学生など)は、国籍・在留資格・在留期間・在留期間満了日の記載のあるものを提出してください。
- ・学会発表及び論文投稿について、別紙にて一覧の添付を可とします。(記載例参照)
- ・芸術分野の方は参考資料の添付を可とします。(但し、A4用紙3枚以内)

#### 【その他】

- ・上記のルールが守られていない願書(記載例に従っていないもの)、及び書類不備(記入もれ、押印又は直筆サインもれ、書類不足等)は審査対象外といたします。
- ・応募書類は返却いたしませんので、必要な方はコピーをお取りください。
- ・メールアドレス等の連絡先は、財団ホームページに登録したものと同一ものを記載してください。
- ・採用決定後に前年(1~12月)の世帯収入がわかる所得証明書を提出していただきます。願書2ページ目「年収」欄の金額と所得証明書の金額との差異が大きい場合は、失格となる場合があります。外国人留学生で所得証明書が入手困難な者はその限りではありません。

## (2) 提出方法

本人が上記全書類を揃えて、本財団宛に郵送してください。

## (3) 提出期限

2023年5月10日(水曜日)本財団必着

- 全ての書類が上記期限までに到着しない場合は審査対象外となります。

## (4) 提出先(連絡先)

〒540-0021 大阪府中央区大手通三丁目2番21号 公益財団法人 戸部真紀財団 事務局

- 質問等がある場合はホームページよりお問い合わせください。 <https://tobe-maki.or.jp/contact/>

## 8. 奨学生の決定

- (1) 採否結果は7月上旬頃に発表いたします。
- (2) 奨学生の決定は、本財団の選考委員会の選考を経て理事長が行い、その結果を本人にメールで通知します。メールが不通の方への改めての連絡はいたしません。
- (3) 選考の経過及び決定の理由は公表しません。
- (4) 採用者は本財団ホームページや本財団が発行する誌面等に氏名、所属、学年、写真等が掲載される場合がありますので予めご了承の上ご応募ください。

## 9. 奨学生の義務

- (1) 奨学生は、学期毎に成績証明書を、また各年度末(3月末)までに活動報告書及び在学証明書(又は卒業証明書/修了証明書)を理事長宛に提出しなければなりません。
  - ※ 活動報告書を期日までに提出しない場合は、給付済奨学金の返還を求めます。
- (2) 奨学生は隔月で奨学金振込日の翌月10日までに奨学金受領書/近況報告書を提出しなければなりません。
  - ※ 奨学金受領書/近況報告書を期日までに提出しない場合は、奨学金の給付を停止または廃止します。

## 10. その他

奨学生は本財団が行う交流会に出席することが可能です。なお、出席は任意とします。

(2023年度 交流会開催予定日)8月27日(日)からの1泊2日または2泊3日

- 交流会の様子は下記ホームページからご覧いただけます。 <https://tobe-maki.or.jp/gyouji/>

## 11. 個人情報の取扱いについて

奨学金の応募書類に記載された個人情報は、本制度のために利用され、その他の目的には利用されません

以上

# 公益財団法人 戸部眞紀財団について



## 戸部貞信(初代理事長)・戸部眞紀(出捐者)のプロフィール 及び 財団設立の経緯

戸部眞紀は1939年9月18日、大塚グループ(現・大塚ホールディングス(株))二代目、大塚正士氏の長女として徳島県鳴門市で生まれ、早稲田大学(当時の第一商学部)を卒業後、大塚化学(株)に入社しました。芸術への造詣も深く、自身でも趣味として絵画、作詞、作曲などの創作活動を行い、「とべ たみ」のペンネームで数十点の作品を遺しました。2013年10月27日、享年74歳で逝去し、遺言にて大塚ホールディングス(株)の株式を当財団設立に拠出しました。

戸部貞信は1941年4月18日、神戸市須磨区で生まれました。京都大学農学部農芸化学科、同大学大学院農学研究科を修了後、味の素(株)他の勤務を経て、大塚化学(株)代表取締役社長、大塚食品(株)代表取締役社長、大塚ホールディングス(株)取締役等を歴任しました。2013年10月の戸部眞紀逝去後、妻の遺志をくみ、同年12月に戸部眞紀財団を設立、翌年4月の事業開始時より、将来を担う若者のため財団の運営に尽力してきました。2022年3月16日、享年80歳で逝去しました。

## 事業の目的

本財団は、教育・研究機関の国際交流の促進、異文化間の国際交流の促進に関する助成、基礎教育及び文化芸術・科学教育をはじめとする教育諸活動への助成、支援及び奨学援護等を行い、もって、わが国の文化芸術及び科学技術の振興、さらには人材育成の促進に寄与することを目的とします。

## 事業の内容

1. 国内の大学及び大学院の国内学生に対する奨学金の支給
2. 外国からわが国の大学及び大学院に留学する学生に対する奨学金の支給
3. 日本国籍の大学、大学院の学生及び大学、大学院とそれに準じた研究機関の研究者に対する海外留学に対しての助成金の支給
4. 奨学金の受給者に対する生活指導及び助言
5. 教育研究活動に対する助成
6. その他、当法人の目的を達成するために必要な事業

## 財団の沿革

- |        |       |                                     |
|--------|-------|-------------------------------------|
| ・2013年 | 12月6日 | 戸部眞紀の遺言により、一般財団法人 戸部眞紀財団として設立       |
| ・2014年 | 4月 1日 | 事業開始(奨学生、及び研究助成金 一期生の募集開始)          |
| ・2014年 | 6月13日 | 新公益法人制度に基づく公益認定を受け、公益財団法人 戸部眞紀財団に改称 |

# 役員・評議員名簿

## 評議員

役名	氏名(敬称略)	職名
評議員	戸部 克信	大塚化学株式会社 執行役員
	藤関 勝宏	元 大塚食品株式会社 監査役
	木村 俊作	京都大学 名誉教授 京都大学 産官学連携本部 副本部長 京都大学 オープンイノベーション機構 副機構長
	北村 卓三	エクセルコンサルティング株式会社 代表取締役
	長岡 奨	株式会社阿波銀行 代表取締役会長
	白井 操	料理研究家
	奥村 太久実	むさしの税理士法人 代表社員・税理士

## 理事

役名	氏名(敬称略)	職名
理事長	戸部 渉	公益財団法人 戸部眞紀財団 事務局長
理事	武藤 芳照	東京健康リハビリテーション総合研究所 所長 東京大学 名誉教授
	野村 正朗	学校法人 帝塚山学院 理事長
	大高 保二郎	早稲田大学 名誉教授
	小林 四郎	京都大学 名誉教授
	石見 利勝	元 立命館大学 教授

## 監事

役名	氏名(敬称略)	職名
監事	竹内 定夫	ふじ総合法律会計事務所 公認会計士・税理士

公益財団法人 戸部真紀財団

---

TOBE MAKI SCHOLARSHIP FOUNDATION

〒540-0021 大阪府中央区大手通三丁目2番21号

TEL:06-6945-7239

FAX:06-6943-8215

HP:<http://www.tobe-maki.or.jp/>

Mail Address:Tobe-Zaidan@otsuka.jp





家庭の状況	同一生計および同居の有無に関わらず家族を記載のこと				単位:万円					
	続柄	氏名	年齢	勤務先または学校名・学年	年収(2022年・税控除前)					
経済状況	◆ 2022年度は実績、2023年度は見込みを記入							単位:万円		
	収入	内訳	2022年度	2023年度	支出	内訳	2022年度	2023年度		
		家族等からの給付				授業料(免除差引後)				
		アルバイト等				通学費・交通費				
		奨学金(貸与)※				授業料以外の学費				
		奨学金(給付)※				住居・光熱費・食費				
		その他収入				その他支出				
		合計				合計				
	<特記事項欄>									
他の奨学金	奨学金の内訳 ※ 申請中には申請予定を含む				(給付型 or 貸与型に○)					
	受給先	年額(万円)	期間		現況	型				
			年 月～ 年 月		受給中・申請中・終了	給・貸				
			年 月～ 年 月		受給中・申請中・終了	給・貸				
			年 月～ 年 月		受給中・申請中・終了	給・貸				
			年 月～ 年 月		受給中・申請中・終了	給・貸				
			年 月～ 年 月		受給中・申請中・終了	給・貸				
			年 月～ 年 月		受給中・申請中・終了	給・貸				
住居形態	(該当に○) 自宅 ・ 下宿 ・ その他 ( ) 【下宿・その他の方】(該当に○) 寮 ・ 賃貸 ⇒ 自室の広さ ( L・D・K・ワンルーム / m <sup>2</sup> )									
緊急連絡先 (本人以外)	氏名 続柄 ( )									
	TEL(自宅 - - ) (携帯 - - ) (〒 - )									

1. 本奨学金をこれからの勉学、研究活動にどのように生かすか（具体的に）

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

2. 主として現在 勉学・研究、並びに熱心に取り組んでいる社会的活動  
(ボランティア活動等) の内容

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

3 頁目以降、各設問「枠内」の罫線は消しても可、但し各設問の記載スペース変更（頁の増減等）は不可

3. 今後の勉学、並びに研究計画

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

4. 卒業後の進路・目標

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

5. あなたの専攻領域における国際化、国際交流の展望

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

給付 2 年目 (2024 年度) の予定 (いずれかに○)	進級 進学 (進学予定先 : )
	就職 その他 ( )
<b>GPA 欄</b>	GPA (左欄に自身の GPA / 右欄に満点時の GPA)
	計算根拠資料(いずれかに○) ⇒ 成績証明書・GPA 証明書等・他 ( ) ・財団フォーマット

※ 財団フォーマット (GPA 算出表) は大学発行の資料が添付できない場合のみご使用ください。

当財団を何で知りましたか? (該当に○)

1. 学内のHP
2. 学内の掲示板
3. 指導教員の紹介
4. 学内からの案内
5. 当財団のパンフ
6. 本財団 Facebook
7. 当財団の HP
8. 他の HP ( )
9. 知人の紹介 ( )
10. その他 ( )

2023年度 公益財団法人 戸部眞紀財団 学部学生願書

記入日：2023年 4月 26日

※ 記入漏れや記載間違い等がないよう、必ず記載例とよくある間違いを参考にご記入ください。

応募分野 (○で囲む)	化学 食品科学 芸術学/デザイン学 <b>体育学/スポーツ科学</b> 経営学	受付番号 (記入不要)	-
大 学	公益大学	(通学キャンパス名) 財団キャンパス	入 学 2020年 4月
		(学籍番号) B6789	卒業予定 2024年 3月
フリガナ	サトウ サチコ		
氏名(漢字)	佐藤 幸子	国籍 日本	日本国籍以外の方は、 在留資格を記入 (永住者、留学など)
氏名(英字)	SACHIKO SATO	在留 資格	
生 年 月 日 (○歳)	○○○○年 ○月 ○日 (○歳)	性別	女
学 部	○○学部		
学科・専攻	○○学科 ○○専攻 ○○コース	学科や専攻は正確に記入すること (成績表や在学証明書を見て書くこと)	
学 年	3年		
奨学金担当部署	学生支援課 奨学金係		
現 住 所	TEL (自宅 06 - ×××× - ××××) (携帯 080 - ×××× - ××××) (〒560 - ××××) 住所はマンション名、部屋番号まで記載 大阪府○○市○○2-3-4 ○○マンション 201号室	E-Mail が手書きの場合、判読できない事が 多いので、下記に注意してご記載ください。 (手書きの場合の注意点) ・大文字、小文字の区別 ・ピリオドとカンマの区別「. ,」 ・ハイフンとアンダーバーの区別「- _」 ・数字のゼロとアルファベットのオー の表記 ⇒ ゼロ: 0 オー: O	
E - M a i l	(PCアドレス) satosachiko@abc.com (携帯アドレス) sachikosato@x	両方記入ください。 (片方しか所持が無い場合 はどちらか1つでも可) 尚、PC 又は携帯のどちらか 一方に、本財団 HP に登録し た基本情報と同じアドレス を記載のこと	
学 歴 (高校卒業より)	学校名(学部名等) / 勤務先 大阪府立○○高等学校 公益大学 ○○学部 ○○学科	業 績 ○○年○○月	印 名・役 職 等 英検○級 簿記○級
及 び 職 歴	1~2 ページ目については小さいフォントの使用、及びページ数が増減しない範囲で行の追加・削除も可とします。		
学 外 の 活 動 の 発 表 等	主な活動名称等	開催地	内容、実績等
	日本体育学会第○回	東京	ポスター発表
	NPO 法人○○	大阪	ボランティア活動
	コンクール、インカレ、ボランティア活動、インターン、留学、学会、論文投稿等について記載してください。 タイトルが長い場合は罫線を消して記入しても構いません。 行数が不足する場合は主なものについて記載してください。		

国籍に関わらず必ずフリガナを記入

外国人留学生は必ず半角大文字で英字を記入してください(留学生以外は不要)

日本国籍以外の方は、在留資格を記入(永住者、留学など)

必ず押印または直筆サインをすること

学科や専攻は正確に記入すること(成績表や在学証明書を見て書くこと)

E-Mail が手書きの場合、判読できない事が多いので、下記に注意してご記載ください。(手書きの場合の注意点)  
・大文字、小文字の区別  
・ピリオドとカンマの区別「. ,」  
・ハイフンとアンダーバーの区別「- \_」  
・数字のゼロとアルファベットのオーの表記 ⇒ ゼロ: 0 オー: O

1~2 ページ目については小さいフォントの使用、及びページ数が増減しない範囲で行の追加・削除も可とします。

コンクール、インカレ、ボランティア活動、インターン、留学、学会、論文投稿等について記載してください。  
タイトルが長い場合は罫線を消して記入しても構いません。  
行数が不足する場合は主なものについて記載してください。

同一生計および同居の有無に関わらず家族全員を記載し、併せて収入（年収）も記入してください。但し、生計を一にしない祖父母は記入する必要はありません。本人が別居独立生計を営む場合も上記と同様に記載し、「特記事項欄」で状況の詳細を説明してください。既婚者は配偶者の年収も必ず記入してください。

家庭の状況	同一生計および同居の有無に関わらず家族を記載のこと				単位:万円
	続柄	氏名	年齢	勤務先または学校名・学年	年収(2022年・税控除前)
	父	佐藤 一郎	56	〇〇工務店	250
	母	弘子	53	〇〇株式会社	100
	弟	正	17	〇〇高等学校3年	—
	妹	道子	14	〇〇中学校2年	—
	採用後、2022年(1~12月)の世帯収入がわかる所得(課税・非課税)証明書をご提出いただきます。外国人留学生で所得証明書が入手困難な場合はその限りではありません。				

経済状況	◆ 2022年度は実績、2023年度は見込みを記入							単位:万円
	収入	内訳	2022年度	2023年度	支出	内訳	2022年度	2023年度
		家族等からの給付	15	15		授業料(免除差引後)	30	30
		アルバイト等	30	20		通学費・交通費	10	10
		奨学金(貸与)※	60	60		授業料以外の学費	16	16
		奨学金(給付)※	30	30		住居・光熱費・食費	82	72
		貯金の取崩し(☆)	5	5		貯金で繰越し(☆)	5	5
		その他収入	15	15		その他支出	12	12
		合計	155	145		合計	155	145
	<特記事項欄>							
<p>年度ごとの「収入」=「支出」となるようにしてください (合計の計算間違いも多いので、しっかりチェックすること)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経済状況について特に伝えたいことがあれば、当欄に記載してください。</li> <li>・独立生計の場合も記入してください。</li> <li>・その他収入は、内容を特記事項欄に記載して下さい。 ⇒ 或いは、項目の追加があれば、上記(☆)のように記載くださっても構いません</li> </ul>								

他の奨学金	奨学金の内訳 ※ 申請中には申請予定を含む					(給付型 or 貸与型に○)
	受給先	年額(万円)	期間	現況	型	
	〇〇奨学財団	24	2022年4月~2023年3月	受給中・申請中・終了	給・貸	
	日本学生支援機構	60	2022年4月~2025年3月	受給中・申請中・終了	給・貸	
	〇△△育英財団	30	2023年4月~2024年3月	受給中・申請中・終了	給・貸	
<p>・「経済状況」収入欄の奨学金(貸与)、奨学金(給付)の内訳を記入してください。 ・記入は申請中のものも含めてお願いします(書ききれない場合、終了済みは記載不要) ・内訳は貸与・給付とも両方をお書きください。</p>						

住居形態	(該当に○) 自宅 ・ 下宿 ・ その他 ( )
	【下宿・その他の方】(該当に○) 寮 ・ 賃貸 ⇒ 自室の広さ ( L・D・K ワンルーム / 18㎡ )

緊急連絡先	氏名 佐藤 一郎	続柄 ( 父 )
	TEL (自宅 088-XXXX-XXXX) (携帯 090-XXXX-XXXX)	
(本人以外)	(〒770-XXXX) 徳島市〇〇町5-4-21	

1. 本奨学金をこれからの勉学、研究活動にどのように生かすか（具体的に）

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

- このページ以降（本文）は 11 ポイントで入力してください。
- ページ数の増減や様式の変更は認めません。
- 各設問「枠内」の罫線は消しても構いません。但し、各設問の記載スペース変更（頁の増減等）は認めません。
- 図表の挿入は自由です。

2. 主として現在 勉学・研究、並びに熱心に取り組んでいる社会的活動（ボランティア活動等）の内容

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

3 頁目以降、各設問「枠内」の罫線は消しても可、但し各設問の記載スペース変更（頁の増減等）は不可

### 3. 今後の勉学、並びに研究計画

- ・本文は 11 ポイントで入力してください。
- ・ページ数の増減や様式の変更は認めません。
- ・各設問「枠内」の罫線は消しても構いません。但し、各設問の記載スペース変更（頁の増減等）は認めません。
- ・図表の挿入は自由です。

### 4. 卒業後の進路・目標



## 5. あなたの専攻領域における国際化、国際交流の展望

- 本文は 11 ポイントで入力してください。
- ページ数の増減や様式の変更は認めません。
- 各設問「枠内」の罫線は消しても構いません。但し、各設問の記載スペース変更（頁の増減等）は認めません。
- 図表の挿入は自由です。

下欄に、給付 2 年目（2024 年度）の予定を記入してください。  
現時点の予定で構いませんので、給付中に変更になっても全く問題ありません。  
今年度卒業で 2024 年度から就職される方は、2023 年度のみ給付いたします。

GPA 欄には、成績証明書に記載された GPA をそのまま転記してください。  
成績証明書に GPA の記載がない場合は GPA 証明書等（大学で発行が可能なもの）を併せて提出のこと（成績証明書に加えて GPA の記載された成績通知書等による代用も可）。大学で GPA 証明書等が発行できない場合は本財団フォーマットで算出した数値を GPA 欄に記載し、財団フォーマットも併せて提出のこと

給付 2 年目（2024 年度） の予定（いずれかに○）	進級 <input checked="" type="radio"/> 進学（進学予定先：●●大学大学院 博士前期課程）				
	就職 <input type="radio"/> その他（ ）				
GPA 欄	GPA（左欄に自身の GPA / 右欄に満点時の GPA）				
	<table border="1"> <tr> <td>自身の GPA (左欄)</td> <td>2.85</td> <td>小数点第 2 位まで</td> <td>4.0</td> <td>満点時の GPA (右欄)</td> </tr> </table>	自身の GPA (左欄)	2.85	小数点第 2 位まで	4.0
自身の GPA (左欄)	2.85	小数点第 2 位まで	4.0	満点時の GPA (右欄)	
計算根拠資料(いずれかに○) ⇒	成績証明書・GPA 証明書等 ( ) ・財団フォーマット				

※ 財団フォーマット（GPA 算出表）は大学発行の資料が添付できない場合のみご使用ください。

当財団を何で知りましたか？（該当に○）

1. 学内の HP
2. 学内の掲示板
3. 指導教員の紹介
4. 学内からの案内
5. 当財団のパンフ
6. 本財団 Facebook
7. 当財団の HP
8. 他の HP（ 助成財団センター ）
9. 知人の紹介（ ）
10. その他（ ）

2023年度 公益財団法人 戸部眞紀財団 大学院学生願書

記入日： 2023年 月 日

※ 記入漏れや記載間違い等がないよう、必ず記載例とよくある間違いを参考にご記入ください。

応募分野 (○で囲む)	化学 食品科学 芸術学/デザイン学 体育学/スポーツ科学 経営学			受付番号 (記入不要)	— —
大 学			(通学キャンパス名)	入 学	年 月
			(学籍番号)	修了予定	年 月
フリガナ			印 (サイン可)	国籍	写真貼付欄 横 3.5cm×縦 4.5cm 上半身脱帽 最近3ヶ月以内に撮影 裏面に氏名記入 データ印刷可
氏名(漢字)				在留 資格	
氏名(英字)			性別		
生年月日 (4月1日現在)	年 月 日 ( 歳)				
研 究 科					
専攻/コース					
課程/学年					
奨学金担当部署					
現 住 所	TEL ( 自 宅 — — ) ( 携 帯 — )				
	( 〒 — )				
E・Mail	(PCアドレス) (携帯アドレス)			※本財団HPに登録した 基本情報と同じアドレス を記載すること	
学 歴 (高校卒業より)  及 び  職 歴	学校名(学部・研究科等)/勤務先名	入学年月 入社年月	卒業年月 退職年月	課程/専攻科目、取得資格 部署・役職等	
学 会 発 表 等	主な学会等名称	開催地	発表種別	発表者	発表題目等
				主・副	
				主・副	
				主・副	
				主・副	
				主・副	
				主・副	
発表回数：国内 ( ) 回・海外 ( )			論文投稿数：国内 ( ) 本・海外		

家庭 の 状 況	同一生計および同居の有無に関わらず家族を記載のこと				単位:万円			
	続柄	氏名	年齢	勤務先または学校名・学年	年収(2022年・税控除前)			
経 済 状 況	◆ 2022年度は実績、2023年度は見込みを記入				単位：万円			
	収 入	内訳	2022年度	2023年度	支 出	内訳	2022年度	2023年度
		家族等からの給付				授業料(免除差引後)		
		アルバイト等				通学費・交通費		
		奨学金(貸与)※				授業料以外の学費		
		奨学金(給付)※				住居・光熱費・食費		
		その他収入				その他支出		
		合計				合計		
	<特記事項欄>							
他 の 奨 学 金	奨学金の内訳 ※ 申請中には申請予定を含む				(給付型 or 貸与型に○)			
	受給先	年額(万円)	期 間	現 況	型			
			年 月～ 年 月	受給中・申請中・終了	給・貸			
			年 月～ 年 月	受給中・申請中・終了	給・貸			
			年 月～ 年 月	受給中・申請中・終了	給・貸			
			年 月～ 年 月	受給中・申請中・終了	給・貸			
			年 月～ 年 月	受給中・申請中・終了	給・貸			
			年 月～ 年 月	受給中・申請中・終了	給・貸			
JSPS 特別研究員 <input type="checkbox"/> 申請中 <input type="checkbox"/> 採用確定 (期間 年 月～ 年 月)				JST 次世代研究者挑戦的プログラム <input type="checkbox"/> 申請中 <input type="checkbox"/> 採用確定 (期間 年 月～ 年 月)				
住居 形態	(該当に○) 自宅 ・ 下宿 ・ その他 ( ) 【下宿・その他の方】(該当に○) 寮 ・ 賃貸 ⇒ 自室の広さ ( L・D・K・ワンルーム / m <sup>2</sup> )							
緊急連絡先 (本人以外)	氏名			続柄 ( )				
	TEL (自宅 - - ) (携帯 - - )							
	(〒 - )							



## 2. 研究の概要



4. 今後の研究展開について

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

5. 卒業後の進路・目標について

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

6. あなたの研究領域における国際化、国際交流の展望

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

給付 2 年目 (2024 年度) の 予定 (いずれかに○)		進級 進学 (進学予定先: )
		就職 その他 ( )
GPA 欄	課程	GPA (左欄に自身の GPA / 右欄に満点時の GPA)
	学士	
	修士	
計算根拠資料(いずれかに○)		成績証明書・GPA 証明書等・他 ( )・財団フォーマット

※ 財団フォーマット (GPA 算出表) は大学発行の資料が添付できない場合のみご使用ください。

当財団を何で知りましたか? (該当に○)

- 1. 学内の HP      2. 学内の掲示板上      3. 指導教員の紹介      4. 学内からの案内
- 5. 本財団のパンフ      6. 本財団 Facebook      7. 本財団の HP
- 8. 他の HP ( )      9. 知人の紹介 ( )
- 10. 学会の案内 (学会名: )      11. その他 ( )



2023 年度 公益財団法人 戸部眞紀財団 大学院学生願書

記入日：2023 年 4 月 20 日

※ 記入漏れや記載間違い等がないよう、必ず記載例とよくある間違いを参考にご記入ください。

応募分野 (○で囲む)	<input checked="" type="radio"/> 化学 <input type="radio"/> 食品科学 <input type="radio"/> 芸術学/デザイン学 <input type="radio"/> 体育学/スポーツ科学 <input type="radio"/> 経営学			受付番号 (記入不要)	— —	
大 学	財団大学大学院		(通学キャンパス名) 公益キャンパス	入 学	2022 年 4 月	
			(学籍番号) A12345	修了予定	2024 年 3 月	
フリガナ	スズキ タロウ			国籍	日本	
氏名(漢字)	鈴木 太郎			在留資格		
氏名(英字)	TARO SUZUKI			性別	男	
	〇〇〇〇 年 〇月〇日 ( 〇歳)			日本国籍以外の方は、在留資格を記入(永住者、留学など) 必ず押印または直筆サインをすること		
研 究 科	〇〇研究科			専攻や課程は正確に記入すること (成績表や在学証明書を見て書くこと)		
専攻/コース	〇〇専攻 〇〇コース 〇〇研究室					
課程/学年	博士前期課程 1 年					
奨学金担当部署：学生支援課 奨学金係 (所属する大学の、奨学金の担当部署名を記載)						
現 住 所	TEL (自宅 03 - ×××× - ××××) (携帯 090 - ×××× - ××××) (〒100 - ××××) 住所はマンション名、部屋番号まで記載 東京都〇〇区〇〇1-2-3 〇〇ハイツ 101 号			E-Mail が手書きの場合、判読できない事が多いので、下記に注意してご記載ください。 (手書きの場合の注意点) ・大文字、小文字の区別 ・ピリオドとカンマの区別「. ,」 ・ハイフンとアンダーバーの区別「- _」 ・数字のゼロとアルファベットのオーの表記 ⇒ ゼロ：0 オー：O		
E - M a i l	(PCアドレス) suzukitaro@abc.com (携帯アドレス) suzukitaro@x			両方記入ください。 (片方しか所持が無い場合はどちらか1つでも可) 尚、PC 又は携帯のどちらか一方に、本財団 HP に登録した基本情報と同じアドレスを記載のこと		
学 歴	学校名(学部・研究科等) / 勤務先			〇月	英検〇級	
(高校卒業より)	大阪府立〇〇高等学校			〇月		
	財団大学 理工学部 化学科			〇年〇月	〇年〇月	修士課程、TOEIC〇点
及 び	財団大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻			〇年〇月		博士後期課程
職 歴	財団大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻			〇年〇月		
1~2 ページ目については小さいフォントの使用、及びページ数が増減しない範囲で行の追加・削除も可とします。						
学 会 発 表 等	主な学会等名称	開催地	発表種別	発表者	発表題目等	
	〇〇学会 (〇年〇月)	ロンドン	ポスター	主・副	発表タイトル	
	××学会 (〇年〇月)	札幌	口頭	主・副	発表タイトル	
	月刊〇〇誌 (〇年〇月号)			主・副	掲載タイトル	
学会、論文投稿、コンクール、インカレ等について記載してください。 タイトルが長い場合は罫線を消して記入しても構いません。 行数が不足する場合は主なものについて記載してください。 別紙にて投稿論文、学会発表、及びコンクール等の一覧の添付も可とします。 (学会や論文一覧の添付の場合は、本記載例最終ページの記載項目を参照してください。)						
発表回数：国内 ( 1 ) 回・海外 ( 1 ) 回				論文投稿数：国内 ( 1 ) 本・海外 ( 0 ) 本		

同一生計および同居の有無に関わらず家族全員を記載し、併せて収入（年収）も記入してください。但し、生計を一にしない祖父母は記入する必要はありません。本人が別居独立生計を営む場合も上記と同様に記載し、「特記事項欄」で状況の詳細を説明してください。既婚者は配偶者の年収も必ず記入してください。

家庭の状況	同一生計および同居の有無に関わらず家族を記載のこと					単位:万円		
	続柄	氏名	年齢	勤務先または学校名・学年	年収(2022年・税控除前)			
	母	鈴木 花子	52	〇〇商店	350			
	姉	恵子	26	〇〇薬局	100			
	弟	次郎	17	大阪府立〇〇高等学校 3年	-			
		採用後、2022年(1~12月)の世帯収入がわかる所得証明書をご提出いただきます。外国人留学生で所得証明書が入手困難な場合はその限りではありません。						
経済状況	◆ 2022年度は実績、2023年度は見込みを記入							単位:万円
	収入	内訳	2022年度	2023年度	支出	内訳	2022年度	2023年度
		家族等からの給付	15	15		授業料(免除差引後)	30	30
		アルバイト等	30	20		通学費・交通費	10	10
		奨学金(貸与)※	60	60		授業料以外の学費	20	15
		奨学金(給付)※	24	30		住居・光熱費・食費	82	82
		貯金の取り崩し(☆)	5	5		貯金の繰り越し(☆)	5	5
		RA(☆)	15	10				
		その他収入	10	14		その他支出	12	12
	合計	159	154	合計	159	154		
<特記事項欄>								
<p>年度ごとの「収入」=「支出」となるようにしてください (合計の計算間違いも多いので、しっかりチェックすること)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経済状況について特に伝えたいことがあれば、当欄に記載してください。</li> <li>・独立生計の場合も記入してください。</li> <li>・その他収入は、内容を特記事項欄に記載して下さい。 ⇒ 或いは、項目の追加があれば、上記(☆)のように記載くださっても構いません</li> </ul>								
他の奨学金	奨学金の内訳 ※ 申請中には申請予定を含む (給付型 or 貸与型に○)							
	受給先	年額(万円)	期間	現況	型			
	〇〇奨学財団	24	2021年4月~2023年3月	受給中・申請中・終了	給貸			
	日本学生支援機構	60	2022年4月~2024年3月	受給中・申請中・終了	給貸			
	△△△育英財団	30	2023年4月~2024年3月	受給中・申請中・終了	給貸			
	博士フェローシップ	180	2022年4月~2024年3月	受給中・申請中・終了	給貸			
<p>・「経済状況」収入欄の奨学金(貸与)、奨学金(給付)の内訳を記入してください。 ・記入は申請中のもも含めてお願いします(書ききれない場合、終了済みは記載不要) ・内訳は貸与・給付とも両方をお書きください。</p>								
<p>JSPS 特別研究員 <input type="checkbox"/> 申請中 <input checked="" type="checkbox"/> 採用確定 (期間 2023年 4月~ 2026年 3月)</p> <p>JST 次世代研究者挑戦的プログラム <input checked="" type="checkbox"/> 申請中 <input type="checkbox"/> 採用確定 (期間 2024年 4月~ 2026年 3月)</p>								
住居形態	(該当に○) 自宅 ・ 下宿 ・ その他 ( )							
【下宿・その他の方】(該当に○) 寮 ・ 賃貸 ⇒ 自室の広さ ( 1 DK / 20㎡ )								
緊急連絡先 (本人以外)	氏名 鈴木 花子			続柄 ( 母 )				
	TEL (自宅 06 - ×××× - ××××)			博士後期課程の方で、日本学術振興会 特別研究員、および、JST 次世代研究者挑戦的プログラムに「申請中」又は「採用確定」の方は、□をチェックのうえ、申請中の期間、或いは、採用期間を記入してください(どちらにも該当しない方、修士課程の方は記入不要)。				
	(〒 540 - ××××)							
大阪府〇〇市〇〇町 2-34								

所属研究室名	〇〇〇研究室
指導教員名	(お名前とお役職をご記載ください)
研究題目	〇〇〇〇〇

1. 奨学金を得ることでこれからの研究活動にどのように生かすか

- このページ以降（本文）は 11 ポイントで入力してください。
- ページ数の増減や様式の変更は認めません。
- 各設問「枠内」の罫線は消しても構いません。但し、各設問の記載スペース変更（頁の増減等）は認めません。
- 図表の挿入は自由です。

3 頁目以降、各設問「枠内」の罫線は消しても可、但し各設問の記載スペース変更（頁の増減等）は不可

## 2. 研究の大要

- 11 ポイントで入力してください。
- ページ数の増減や様式の変更は認めません。
- 各設問「枠内」の罫線は消しても構いません。但し、各設問の記載スペース変更（頁の増減等）は認めません。
- 図表の挿入は自由です。

3. これまでの主たる研究業績、あるいは今まで主として取り組んできた研究実績（手法や成果等）

- 記載方法は自由です。
- 11 ポイントで入力してください。
- ページ数の増減や様式の変更は認めません。
- 各設問「枠内」の罫線は消しても構いません。但し、各設問の記載スペース変更（頁の増減等）は認めません。
- 図表の挿入は自由です。

#### 4. 今後の研究展開について

- 11ポイントで入力してください。
- ページ数の増減や様式の変更は認めません。
- 各設問「枠内」の罫線は消しても構いません。但し、各設問の記載スペース変更（頁の増減等）は認めません。
- 図表の挿入は自由です。

#### 5. 卒業後の進路・目標について

- 11ポイントで入力してください。
- ページ数の増減や様式の変更は認めません。
- 各設問「枠内」の罫線は消しても構いません。但し、各設問の記載スペース変更（頁の増減等）は認めません。
- 図表の挿入は自由です。

## 6. あなたの研究領域における国際化、国際交流の展望

- ・ 11 ポイントで入力してください。
- ・ ページ数の増減や様式の変更は認めません。
- ・ 各設問「枠内」の罫線は消しても構いません。但し、各設問の記載スペース変更（頁の増減等）は認めません。
- ・ 図表の挿入は自由です。

下欄に、給付2年目（2024年度）の予定を記入してください。  
現時点の予定で構いませんので、給付中に変更になっても全く問題ありません。  
今年度修了で2024年度から就職される方は、2023年度のみ給付いたします。

GPA欄には、成績証明書に記載されたGPAをそのまま転記してください。  
成績証明書にGPAの記載がない場合はGPA証明書等（大学で発行が可能なもの）を併せて提出のこと。（成績証明書に加えてGPAの記載された成績通知書等による代用も可）。大学でGPA証明書等が発行できない場合は本財団フォーマットで算出した数値をGPA欄に記載し、財団フォーマットも併せて提出のこと

給付2年目（2024年度）の 予定（いずれかに○）	進級 <input checked="" type="radio"/> 進学（進学予定先： <input checked="" type="radio"/> 大学大学院 <input checked="" type="radio"/> 博士後期課程）
	就職 <input type="radio"/> その他（ <input type="text"/> ）

GPA欄 (博士は不要)	課程	GPA (左欄に自身のGPA/右欄に満点時のGPA)	
	学士	自身のGPA (左欄)	2.85
修士		3.26	4.00

博士については記入不要です。

計算根拠資料(いずれかに○) ⇒ 成績証明書 GPA証明書等・他(  )・財団フォーマット

※ 財団フォーマット（GPA算出表）は大学発行の資料が添付できない場合のみご使用ください。

当財団を何で知りましたか？（該当に○）

1. 学内のHP
2. 学内の掲示板
3. 指導教員の紹介
4. 学内からの案内
5. 当財団のパンフ
6. 本財団 Facebook
7. 当財団のHP
8. 他のHP（  助成財団センター  ）
9. 知人の紹介（  ）
10. 学会の案内（学会名：）
11. その他（）

- ※ 本ページは任意提出です。1 ページ目の「学会発表等」の項目に入りきらない場合に、一覧の添付を希望される方のみご参照ください。
- ※ フォーマットはフリーですが、以下の各項目をご記載ください。

## 学会発表及び論文投稿一覧（例）

### 【学会発表】

- ・ 発表題目
- ・ 学会名称
- ・ 開催地
- ・ 開催年月日
- ・ 発表者名（全員）      ※申請者氏名に下線を引くこと

### 【論文報告】（投稿中の論文を含む）

- ・ 発表題目
- ・ 著者名（全員）      ※申請者氏名に下線を引くこと
- ・ ジャーナル名（発行学会又は団体）
- ・ 巻号
- ・ 頁（最初の頁－最後の頁）
- ・ 報告年



# GPA算出表

公益財団法人 戸部真紀財団

- 応募者氏名
- 現在の所属先名

本様式は、所属の大学でGPAを導入していない場合にのみ使用します。本様式を使用する前に、「GPAの記載されている成績証明書」、或いは「GPA証明書」など、GPAが記載された書類の発行を大学(または直近の在籍校)に依頼して下さい(GPAの記載された成績通知書等による代用可)。当該大学でGPA記載の書類を発行できるにもかかわらず、本様式を利用することはできません。

成績評価ポイント f-general GP (LGの評点) の換算表

LG	成績評価(単位認定のみは除く)					
4段階評価の例	-	-	優	良	可	不可
	-	-	A	B	C	F
	-	-	100 - 80点	79 - 70点	69 - 60点	60点未満
5段階評価の例	-	100 - 90点	89 - 80点	79 - 70点	69 - 60点	60点未満
	-	秀/優上	優	良	可	不可
	-	A	B	C	D	F
6段階評価の例	100 - 95点	94 - 85点	84 - 75点	74 - 65点	64 - 60点	60点未満
	A+	A	B	C	D	F

<学士> 当時の所属先名  在籍年数  年間

学士	f-general GP (LGの評点)	4.3	4	3	2	1	0	本数値を 願書に
	4段階から6段階まで、LGの段階数を記入		段階評価	GPA..... (f-general GP × 単位数の合計) / 取得単位数の合計				
	LG名(成績評価名 優・良・・・など)							
	取得単位数							0
	f-general GP × 単位数	0	0	0	0	0	0	0

<修士> 当時の所属先名  在籍年数  年間

修士	f-general GP (LGの評点)	4.3	4	3	2	1	0	本数値を 願書に
	4段階から6段階まで、LGの段階数を記入		段階評価	GPA..... (f-general GP × 単位数の合計) / 取得単位数の合計				
	LG名(成績評価名 優・良・・・など)							
	取得単位数							0
	f-general GP × 単位数	0	0	0	0	0	0	0

4段階の時は、この列に入力のこと

5段階の時は、この列に入力のこと

6段階の時は、この列に入力のこと

(計算式の例 ※5段階の場合)

$$\frac{(\text{評価ポイント3の単位数} \times 4) + (\text{評価ポイント3の単位数} \times 3) + \dots + (\text{評価ポイント0の単位数} \times 0)}{\text{総登録単位数}}$$

(注意事項)

- ✓ 単位認定のみで評価のつかない科目は、記載しないでください。
- ✓ 履修科目が単位制でない場合は、科目数を単位数に置き換えて計算してください。

# GPA算出表

ご所属の大学でGPA記載の書類を発行できない場合にのみ、本様式を利用してください。

部真紀財団

1. 応募者氏名

財団 太郎

2. 現在の所属先名

〇〇大学 大学院 工学研究科

本様式は、所属の大学でGPAを導入していない場合にのみ使用します。本様式を使用する前に、は「GPA証明書」など、GPAが記載された書類の発行下さい(GPAの記載された成績通知書等による代用可)。るにもかかわらず、本様式を利用することはできません

ご所属の大学の成績評価が、下記表を参考に4段階～6段階のどれに該当するか、確認してください。不合格の単位も含め、単位認定のみで評価のつかない科目は除きます。(ここに示した成績評価は、あくまで例です)

)の換算表

績評価(単位認定のみは除く)

4段階評価の例	-	-	優 A	良 B	可 C	不可 F
5段階評価の例	-	100-90点 秀/優上 A	89-80点 優 B	79-70点 良 C	69-60点 可 D	60未満 不可 F
6段階評価の例	100-95点 A+	94-85点 A	84-75点 B	74-65点 C	64-60点 D	

黄色の枠に記入してください

<学士> 当

●●大学 工学部

在籍年数

4

年間

f-general (LGの評点)	4.3	4	3	2	1	0	
4段階から6段階まで、LGの段階数を記入	4	段階評価	GPA.....(f-general 合計)/取得単				2.33
LG名(成績評価名 優・良...など)			優	良	可	不可	3点満点
取得単位数		右詰めで記入	46	20	15	2	83
f-general GP × 単位数		0	138	40	15	0	193

上記の表を参考に、必ず「4」「5」「6」のいずれかを記入のこと

本数値を願書に記入してください

本数値を願書に

<修士> 当時の所属先名

△△大学 大学院 生命科学研究科

在籍年数

2

年間

f-general GP (LGの評点)	4.3	4	3	2	1	0	
4段階から6段階まで、LGの段階数を記入	6	段階評価	GPA.....(f-general GP × 単位数の合計)/取得単位数の合計				3.22
LG名(成績評価名 優・良...など)	A+	A	B	C	D	F	4.3点満点
取得単位数	10	80	32	26	10	4	162
f-general GP × 単位数	43	320	96	52	10	0	521

本数値を願書に

4段階の時は、この列に入力のこと

5段階の時は、この列に入力のこと

6段階の時は、この列に入力のこと

4段階から6段階までの成績評価の参考例の順番を元に、「不可」等の不合格から) 右詰めでご記入ください。

.....+(評価ポイント0の単位数×0)

(注意事項)

- ✓ 単位認定のみで評価のつかない科目は、記載しないでください。
- ✓ 履修科目が単位制でない場合は、科目数を単位数に置き換えて計算してください。

# 推薦状

公益財団法人 戸部眞紀財団 御中

2023 年 月 日

大学名： 筑波大学

お役職： 学長

ご芳名： 永田 恭介 印

下記学生を戸部眞紀財団 2023 年度 奨学生として人物・学業ともに適格と認め、ここに推薦いたします。

大学名	所属
学籍番号	学生氏名
指導教員の推薦所見欄	
指導教員 氏名	所属 ご署名 印

記載例

推薦状

公益財団法人戸部眞紀財団 御中

2023 年〇月〇日

学長又は部局長（学部長、研究科長、センター長等）の記名、及び職印の押印をお願いいたします（個人印不可）

大学名： 〇〇大学  
〇〇〇〇学部  
お役職： 〇〇〇〇  
ご芳名： 〇〇 〇〇〇

職印

下記学生を戸部眞紀財団 2023 年度 奨学生として人物・学業ともに適格と認め、ここに推薦いたします。

大学名	〇〇大学	所属	△△学部 △△学科
学籍番号	***-***	学生氏名	佐藤 幸子
指導教員の推薦所見欄	<h1>参考</h1> <p>(ワード入力可)</p>		
	指導教員氏名	所属 ご署名	指導教員の記名押印または署名捺印をお願いいたします。 印

## よくある間違い

申請願書に関して、よくある間違いをまとめましたのでご一読ください。

### 1◆（1頁目）記入漏れ、押印またはサイン漏れはありませんか？

- ・押印または直筆サインはされていますか。
- ・フリガナはふられていますか。
- ・奨学金担当部署名は記載されていますか。
- ・E-Mailアドレスは、正しいスペルで記載されていますか。
- ・上記アドレスはホームページに登録したものと同じですか。
- ・その他、記入漏れはありませんか。

### 2◆（2頁目）記入漏れ、計算ミスはありませんか？

- ・「家庭の状況」が空欄になっていませんか（ご両親等のお名前、年収など）  
⇒ 独立生計の方も、必ずご記入をお願いします。
- ・「経済状況」のそれぞれの内訳を足して、合計欄と合っていますか。  
また、年度毎に「収入欄の合計」＝「支出欄の合計」になっていますか。
- ・「他の奨学金」欄が空欄になっていませんか。  
⇒ 申請中のものや博士課程を対象とした公的支援制度についてもご記載ください。
- ・給付2年目（2024年度）の予定※は記載されていますか。 ※現時点の予定で可
- ・GPA欄が空欄になっていませんか。
- ・GPA計算の根拠となる書類は添付されていますか。
- ・その他、記入漏れはありませんか。

### 3◆添付資料の不備はありませんか？

- ・「推薦状」：右上に「学長、部局長（学部長、研究科長、センター長等）」の職員押印はありますか。最下段に、指導教員の署名捺印（または記名押印）はされていますか。
- ・「成績証明書」（原本）：大学院学生の場合、学部時代の成績も添付がありますか。
- ・「在学証明書」（原本）：2023年度のものでしょうか。
- ・「住民票」：外国籍の場合、国籍・在留資格・在留期間・在留期間満了日の記載はありますか。また、マイナンバーの記載はNGです。ご注意ください。

### 4◆願書フォーマットの体裁が崩れていませんか？

- ・ページの増減はありませんか（ページ数の増減はNG）。
- ・両面印刷になっていませんか（両面印刷はNG）。
- ・ホッチキス止めはされていないですか（ホッチキスはNG）。

### 5◆提出期限は厳守をお願いします（必着です。締切後の到着は審査しません）

- ・毎年、締め切り日の後日に到着する願書が何通もあります。  
締め切りの間際に出す場合は、郵便ではなく必ず「宅配便/配達日指定」で出してください。
- ・書類の到着確認は致しかねます。必要に応じて、書留など記録の残る郵便でお送りください。